



チェーンソーの使い方を説明する小田桐さん(左)

チェーンソーの使い方伝授

苫東環境コモンズ 間伐講習会開く

NPO法人苫東環境コモンズ(草薙健事務局長)は10月29、30両日、苫小牧市静川の雑木林ケアセンターと安平町遠浅の大島山林でチェーンソーの使い方講習会を開いた。

参加者は、真剣な表情で伐採方法を学んでいた。森造りのため安全にチェーンソーを使う方法を学習する講習会。コモンズの会員13人が参加。林業安全技能師範で青森市の小田桐久一郎さん(72)が講師となった。

初日は静川の雑木林でチェーンソーの構造や使用方法を学び、講師の小田桐さんがミズナラやイタヤカエデなどの

立木を切るデモンストレーションを行った。2日目は、安フシを参加者全員で切る練習

をした。

講師の小田桐さんは「チェーンソーは歯がオープンになっているので取り扱いには注意が必要。移動時にはエンジンを止めるのが基本です」と語った。切った間伐材は、まきとして利用する。